

シーズ分野;臨床医学 耳鼻咽喉科学

研究シーズ;鼻副鼻腔炎の局所療法

— 難治性の鼻副鼻腔炎に対する局所投与薬剤の開発を目指す —



滋賀医科大学 耳鼻咽喉科学講座

教授 清水 猛史

「なかなか治らない鼻の症状を解決できる!？」

■関連文献・特許

- ・耳鼻臨床,105:9;803-812,2012
- ・日本医事新報,4667,39-44,2013

■研究概要

鼻副鼻腔とは、鼻の周囲にある骨の空洞で、そこに細菌やウイルスが感染して炎症(副鼻腔炎)が生じる。鼻副鼻腔炎にはアレルギー性や細菌性・真菌性など、さまざまな種類があり、内服薬や鼻噴霧薬、内視鏡手術などで治療するが、治療に抵抗する難治例や重症例が存在する。

私たちは、難治例・重症例の病態の解明に取り組むとともに、直接鼻腔に薬剤を投与する方法(点鼻・鼻噴霧)や舌下に薬剤を投与する局所治療法の研究を行い、すでに幾つかの薬剤の有効性を確認している。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・効果のある薬剤の局所療薬としての研究開発
- ・新しい舌下免疫療法用薬剤の研究開発

■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・上記テーマを進めてもらえる製薬企業との共同研究
- ・鼻噴霧薬としての投与法の開発



お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847

E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp